

平成25年度緑地管理関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

平成25年度緑地管理関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成25年10月24日(木)～25(金)に浅草ビューホテルにおいて開催された。
この検討会には、試験場関係者26名、委託関係者92名ほか、計131名の参集を得て、裸地管理57薬剤(274

点)、緑地維持4薬剤(28点)について、試験成績の報告と検討が行われた。
その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成25年度緑地管理関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

A. 裸地管理 (I) 一般									
薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (試験中など の数)	ねらい・試験設計等		備 考	判定	判定内容		
1. CH-900 フロアブル オキシメチル:40% [エス・ティ・イー・エス パイオテック]	適用性 継続	植調研 関西G研 新中国G研 J福岡	ねらい	一年生/科/発生前/土壌/一般	展着剤は不要。処理後経過を見ながら処理後30、60日で調査。	実	実) [一年生/科雑草] ・発生前 ・0.25~0.5mL<200mL/>/m ² ・土壌処理		
対象 雑草	一年生/科 全般 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 -								
			設計 薬量 <水量> /m ²	土壌処理 雑草発生前 0.25mL <200mL> 0.375mL <200mL> 0.5mL <200mL> 対) クラフロック顆粒水和剤 雑草発生前 0.24g <100mL>					
2. ELH-201 粒 イネキサン:0.5% トリメタリン:2% [タケノコ日本]	適用性 新規	植調研 関西G研 新中国G研 福岡 豊前	ねらい	一年生/科/発生前/土壌/一般	調査は薬剤散布90日後を目安に行う。	継	継) 効果の確認		
対象 雑草	一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 -								
			設計 薬量 <水量> /m ²	土壌処理 雑草発生前 6g 10g 15g 対) デイタリン乳剤 雑草発生前 0.15mL <100mL>					
3. HCW-201 フロアブル DCMU:50% [旧DCMU フロアブル] [保土谷UPL, 北興化学工業]	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研	ねらい	ゼニコク/生育期/土壌/一般	防除効果の発現は遅いため、薬剤処理40日後を目安に調査を行う。その後の土壌処理効果(抑草期間)の確認も行う。	実・継 従来どおり	実) [一年生雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・1~2mL<100mL>/m ² ・茎葉処理 継) ・ゼニコクに対する効果の確認		
対象 雑草	一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 ゼニコク								
			設計 薬量 <水量> /m ²	茎葉兼土壌処理 ゼニコク生育期 0.5mL <100mL> 0.5mL <200mL> 1mL <100mL> 対) タイロ微粒剤 ゼニコク生育期 10g					
4. MAH-1201顆粒水和 DCMU:80.0% [マクテシム・アガシ・シヤパ]	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 関西G研 新中国G研	ねらい	一年生/科/発生前/土壌/一般	処理後60日程度で調査を行う。	継	継) 効果の確認		
対象 雑草	一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 -								
			設計 薬量 <水量> /m ²	土壌処理 雑草発生前 1g <200mL> 1g <100mL> 2g <100mL> 対) 一任					

A. 裸地管理 (I)-一般

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類・種 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
5. RGH-1301顆粒水和 既知化合物:85% [理研グリーン]	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 殺草剤の残存の確認/発生前・始期/土壌/一般 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /m ² 土壌処理 雑草発生前 雑草発生前 0.05g<100~200mL>, 0.1g<100~200mL>, 0.2g<100~200mL> 雑草発生前 0.05g<100~200mL>, 0.1g<100~200mL>, 0.2g<100~200mL> 雑草生育初期 0.05g<100~200mL>, 0.1g<100~200mL>, 0.2g<100~200mL> 対) 一任	処理時期別除草効果、殺 草剤の残存および残効期 間の確認を行う。	継	継) ・効果の確認
	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 自社試験 (3)	ねらい 一年生/発生前/土壌/一般 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /m ² 土壌処理 雑草発生前 0.075g <100~200mL> 0.1g <100~200mL> 0.2g <100~200mL> 対) 一任	調査は処理60~90日後 に実施。		
	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 自社試験 (3)	ねらい 一年生/発生前/土壌/一般 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /m ² 土壌処理 雑草発生前 0.075g <100~200mL> 0.1g <100~200mL> 0.2g <100~200mL> 対) 一任	薬剤散布は雑草発生前 期までに実施し、調査は 処理60~90日後に行う。		
6. SB-222 フロアブル トリアジフルム:30% [エス・ディー・エス・パイク アグ]	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 J福岡 (3)	ねらい 一年生/発生前/土壌/一般 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /m ² 土壌処理 雑草発生前 0.1mL <100mL-200mL> 0.15mL <100mL-200mL> 0.2mL <100mL-200mL> 対) フロアブル 雑草発生前 0.24g <100mL>	展着剤は不要。 処理後経過を見ながら 処理後90日前後まで調 査。	実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・0.1~0.2mL<100~200mL>/m ² ・土壌処理
7. AEH-002顆粒水和 ヨードスルホンナトリウム 塩:10% [パイクロップサイエンス]	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 関西G研 香川 府中 J福岡 (5)	ねらい 一年生広葉・多年生広葉/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /m ² 茎葉処理 雑草生育期(草丈50cm以下) 0.04g <200mL> 0.04g <100mL> 0.08g <100mL> 対) ①へ④DF 雑草生育期(草丈50cm以下) 0.005g <100mL>	調査は処理後60~90日 程度まで。	実・継	実) [一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・生育期(草丈30cm以下) ・0.04~0.08g<100~200mL>/m ² ・茎葉処理 [茎] ・生育期 ・0.06~0.12g<100~200mL>/m ² ・茎葉処理 継) ・草丈30~50cmでの効果の確認
	適用性 継続	J埼玉 関西G研 J福岡 (3)	ねらい 茎/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 茎 設計 薬量 <水量> /m ² 茎葉処理 雑草生育期 0.06g <200mL> 0.06g <100mL> 0.12g <100mL> 対) ①へ④DF 雑草生育期 0.01g <100mL>	7~8月処理を希望。 調査は処理後60~90日 程度まで。		

A. 裸地管理 (I)-一般

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類・種 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
7. AEH-002顆粒水和 つづき	適用性 新規 (H24)	J福岡 (1)	ねらい クス/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 クス 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育期 0.06g <200mL> 0.06g, 0.12g <100mL> 対) 4-7ヶ月DF 雑草生育期 0.01g <100mL>	7~8月処理を希望。 調査は処理後60~90日 程度。		
8. BAH-1021 液 イネビヒル26.7% [BASFジャパン]	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈50cm以下) 0.8mL <50mL> 1.4mL <50mL> 0.8mL <100mL> 比) 7-7ヶ月液剤 雑草生育期 0.8mL <60mL>	草丈50cm程度で散布。 調査は処理後90~120日 の間に行う。 比較薬剤との効果発現 の速さについても調査 する。 多年生(科、広葉)雑草 主体の場所で試験を行 う。	実・継 実)	[一年生雑草、多年生雑草] ・生育期(草丈50cm以下) ・0.8~1.4mL<100mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) ・一年生雑草、多年生雑草に対する 水量50mL処理での効果の年次変動の 確認 ・クス、4ヶ月に対する効果の確認
	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 クス 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 クス 生育期 1mL <50mL> 1mL <150mL> 1.4mL <50mL> 比) 7-7ヶ月液剤 クス 生育期 1mL <60mL>	調査は処理後90日~120 日の間に行う。また茎葉 処理効果の完成時でも 調査を行う。 比較薬剤との効果発現 の速さについても調査 する。 6月頃処理する。		
	適用性 継続	J埼玉 新中国G研<中間> J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 4ヶ月 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 4ヶ月 生育期 1mL <50mL> 1mL <150mL> 1.4mL <50mL> 比) 7-7ヶ月液剤 4ヶ月 生育期 1mL <60mL>	処理後90日前後で調査 を行う。 比較薬剤との効果発現 の速さについても調査 する。 新芽発生時期に処理す る。 4ヶ月主体で試験を行 う。		
9. HG-1010 液 クワリホートイソフロピロキシ 塩:41.0% [ハート]	適用性 継続	新潟 畜産研 新中国G研 福岡 筑後	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 生育期(草丈20~30cm程度) 2mL <25mL> 2mL <50mL> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時(処理後10~ 20日を目安とする)での 調査および抑草期間の 調査を行う。 翌春の調査は不要。 散布水量25mL/㎡は、専 用ノズルを使用する。	実・継 実)	[一年生雑草、多年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・0.5~1mL<25~100mL>/㎡ ・茎葉処理 [スキナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・2mL<25~50mL>/㎡ ・茎葉処理 [4ヶ月] ・生育期(草丈50cm以下) ・1~2mL<25~100mL>/㎡ ・茎葉処理 [2ヶ月] ・生育期 ・1~2mL<25~100mL>/㎡ ・茎葉処理 注) ・25~50mL/㎡散布は専用ノズルを使用 する 継) ・草丈50cmでの効果の確認 ・4ヶ月、4ヶ月に対する効果の確認
	適用性 継続	新潟 畜産研 J埼玉 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 4ヶ月 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 生育期(草丈50cm以下) 1mL <25mL>, 1mL <100mL> 2mL <25mL>, 2mL <100mL> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時(処理後10~ 20日を目安とする)での 調査および抑草期間の 調査を行う。 翌春の調査は不要。 散布水量25mL/㎡は、専 用ノズルを使用する。		
	適用性 継続	新潟 畜産研 J埼玉 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 クス その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 生育期 1mL <25mL>, 1mL <100mL> 2mL <25mL>, 2mL <100mL> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時(処理後10~ 20日を目安とする)での 調査および抑草期間の 調査を行う。 翌春の調査は不要。 散布水量25mL/㎡は、専 用ノズルを使用する。		

A. 裸地管理 (1)一般

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備考	判定	判定内容
10. HGHW-1206 液 グリホサートイソプロピルアミン塩:34.0% MCPAイソプロピルアミン塩:6.5% [ハート]	適用性 継続	泉パナカウGC 新潟畜産研 東日本G研 J埼玉 関西G研 島根 香川 府中 福岡 筑後	ねらい 対象 雑草	一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他	展着剤不要。 効果最大時での調査および抑草期間の調査を行う。	実	実) [一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・1~1.5mL<50~100mL>/㎡ ・茎葉処理
			(8) 設計 薬量 <水量> /㎡	雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 1mL <50mL> 1mL <100mL> 1.5mL <50mL> 対) 一任			
	適用性 継続	泉パナカウGC 新潟畜産研 福岡 筑後	ねらい 対象 雑草	スギナ/生育期/茎葉/一般 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 スギナ	展着剤不要。 効果最大時での調査および抑草期間の調査を行う。		
			(4) 設計 薬量 <水量> /㎡	雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 1mL <50mL> 1mL <100mL> 1.5mL <50mL> 対) 一任			
11. LNS-001顆粒水和 フルトスロフロン:50% [エス・ティ・エー・ス・ハイイテック]	適用性 継続	東日本G研 関西G研 福岡 八女	ねらい 対象 雑草	一年生/広葉・多年生/広葉/生育初期/茎葉兼 土壌/一般 一年生/科 - 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 全般 その他 -	展着剤加用。 処理後経過を見ながら 30,60日で調査する。	実	実) [一年生広葉、多年生広葉] ・生育初期(草丈20cm以下) ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) 展着剤を加用する。
			(3) 設計 薬量 <水量> /㎡	茎葉兼土壌処理 雑草生育初期(20cm以下) 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) モニト顆粒水和剤 生育初期 0.006g <200~250mL>			
12. MBH-021 液 アミノクロビラクトン:21.2% [丸和パナカウ]	適用性 新規 (H24)	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草	雑草かん木/立木注入/一般 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 雑草木	雑草木の根元に処理する。 雑草木の根元の周り10 cm間隔で薬液を注入す る。 年内効果を確認する。	実・継 従来ど おり	実) [ス、雑草かん木] ・生育期 ・0.1~0.2mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉処理 継) 雑草かん木に対する立木注入処理での効果の確認 参考) ・効果の確認された樹種: ハコギリ、コナギ、アザミ
			設計 薬量 <水量> /㎡	注入処理 雑草木生育期 0.2mL/穴、0.4mL/穴 <原液> 0.6mL/穴、1.2mL/穴 <3倍液> 対) フラウドアツプ マックスロート 雑草木生育期 原液:1mL/穴 7-8cm間隔			
13. NH-007 フロアブル グリホサートイソプロピルアミン塩:30.0% ピラフルフェンエチル:0.16% [日本農薬]	適用性 継続 (H24 翌春)	東日本G研 新中国G研 福岡 筑後	ねらい 対象 雑草	スギナ根絶/生育期/茎葉/一般 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 スギナ	展着剤は不要。 処理後当年度の除草効果と翌春のスギナ根絶程度の調査を行う。	実・継 従来ど おり	実) [一年生雑草、多年生雑草(スギナを除く)] ・生育期(草丈50cm以下) ・0.5~1mL<100mL>/㎡ ・茎葉処理 継) [スギナ] ・生育期(草丈20cm程度) ・1~2mL<100mL>/㎡ ・茎葉処理 参考) [スギナ:根絶効果] ・生育期(草丈20cm程度) ・3~4mL<100mL>/㎡ ・茎葉処理 [スギナ:根絶効果] ・生育期(秋期) ・10~20mL/個体(原液) ・注入処理 参考) ・効果の確認されたスギナ、アザミ、アザミ 継) ・スギナに対する根絶効果の3~4mLでの 年次変動の確認 ・スギナに対する2mL処理での根絶効果の確認
			(3) 設計 薬量 <水量> /㎡	茎葉処理 スギナ生育期(草丈30cm以下) 2mL、3mL、4mL <100mL> 対) フラウドアツプ マックスロート 雑草生育期 1.5~2mL <50~100mL>			

A. 裸地管理 (1)一般

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	試験の 種 類 新・別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい試験設計等	備考	判定	判定内容
14. RGH-1105 液 イザビドール:25% 【理研グリーン】	適用性 継続 (H24 翌春)	東日本G研 新中國G研 J福岡 自社試験	ねらい 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) 全般 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 撒布処理 伐採後 10倍液、5倍液 (切り口全体に十分量を塗布) 対) 一任	・年内効果及び翌春の抑制 効果を確認する。 ・切り株の直径と薬液塗 布量を記録する。 ・処理時の切り口の状態 を記録する。	実・ 実 継 継	【雑かん木:根絶効果】 ・伐採直後 ・10~5倍液(切り口全体に十分量を 塗布) ・切り株塗布処理 【雑草】 ・翌年の抑制効果の確認 【参考】 ・効果の確認された樹種: モミジ、イナブ、スズナギ、コトコ、ヤマナガシ、クサキ、 コナラ、ハコギリ、コナラ、クサキ、アザミ、 ヒメオドリコソウ
15. SB-211 フロアブル グリホサートイソプロピルアミン 塩:20% カルボントラップエステル:2% 【エス・ディー・エス・ハイテック ラボ】	適用性 継続	東日本G研 福岡 豊前	ねらい 対象 雑草 多年生(株) - 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) 全般 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育期(30cm以下) 1mL<100mL> 1.5mL<100mL> 2mL<100mL> 対) バスタ 雑草生育期(30cm以下) 1mL<100mL> 対) ラウンドアップマックスロード 雑草生育期(30cm以下) 1mL<100mL>	展着剤は不要。 できるだけ多くの草種 で効果を確認する。 処理後30日程度で調査 を行う。 効果の発現を確認する ため処理後5日程度で、 さらに、抑草期間を確認 するため60日後まで調 査する。	実・ 実 継 継	【一年生雑草】 ・生育期(草丈30cm以下) ・0.5~1mL<100mL>/㎡ ・茎葉処理 【多年生広葉雑草、スギナ】 ・生育期(草丈30cm以下) ・1~2mL<100mL>/㎡ ・茎葉処理 【雑草】 ・多年生(株)雑草に対する効果の確認
16. SB-221 フロアブル グリホサートイソプロピルアミン 塩:20% カルボントラップエステル:10% 【エス・ディー・エス・ハイテック ラボ】	適用性 新規	東日本G研 新中國G研	ねらい 対象 雑草 一年生・多年生・スギナ/生育期/茎葉/一般 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育期(30cm以下) 0.5mL<100mL> 1mL<100mL> 1.5mL<100mL> 対) ラウンドアップマックスロード 雑草生育期(30cm以下) 1mL<100mL>	展着剤は不要。 できるだけ多くの草種 で効果を確認する。 処理後30日程度で調査 を行う。 抑草期間を確認するた め90日および120日後に 調査する。	継 継	【効果の確認】

A. 裸地管理 (2)家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	試験の 種 類 新・別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい試験設計等	備考	判定	判定内容
1. GG-145 粒 ベシダリン:1.0% DBN:0.7% 【保土谷アグロテック】	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 J埼玉 J福岡 八女	ねらい 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 雑草発生前 7.5g、10g、15g 対) カノロ粒剤2.5 17g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・ 実 継 継	【一年生雑草】 ・発生前 ・7.5~15g/㎡ ・土壌処理 【一年生雑草】 ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/㎡ ・土壌処理 【多年生広葉雑草、スギナ】 ・生育初期(草丈20cm以下) ・30~50g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スズナギ草、クサキ、イナブ 等)を対象としない場合で使用 【雑草】 ・多年生(株)雑草に対する効果の確認 ・発生前処理での一年生雑草に対する効果 の確認
2. GG-162 粒 ジフエントリン:2.0% DCMU:4.0% MCPA:4.0% 【保土谷アグロテック】	適用性 継続	植調研 J埼玉 J埼玉 J福岡 新中國G研	ねらい 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 (低薬量拡大) 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 雑草発生前 5g、7.5g、10g 対) カノロ粒剤2.5 17g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・ 実 継 継	【一年生雑草】 ・発生前 ・7.5~15g/㎡ ・土壌処理 【多年生広葉雑草、スギナ】 ・発生前~生育初期 (草丈20cm以下) 15~30g/㎡ 土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スズナギ草、クサキ、イナブ 等)を対象としない場合で使用 【雑草】 ・発生前の7.5g処理での効果につ いて年次変動の確認 ・発生前の一年生雑草に対する5g処理で の効果について年次変動の確認

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
7. HAT-101 粒 ベキシン/ソ:1.0% DCBN:1.0% ターペン:1.0% [保土谷アグロテック]	適用性 継続	新中国G研 福岡 豊前 (2)	ねらい 対象 雑草 多年生/科/生育初期/土壌/家庭用 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 全般 多年生/広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 15g, 20g, 30g 対) ノンウィード粒剤 15g	調査は処理後60~90日 まで行う。効果発現まで の日数を観察する。有用 植物から離して試験を 行う。	実・継 実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・5~15g/㎡ ・土壌処理 [一年生雑草、多年生広葉雑草、 スギナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・生育初期での多年生/科雑草に対 する効果の確認
8. HAT-102 粒 ベキシン/ソ:0.7% DCMU:2.0% [保土谷アグロテック]	適用性 継続	J古川 東日本G研 福岡 八女 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 7.5g, 10g, 15g 対) カブシ粒剤2.5 17g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・継 実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・4.5~10g/㎡ ・土壌処理 [一年生雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/㎡ ・土壌処理 [多年生広葉雑草、スギナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・30~60g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・発生前処理での一年生雑草に対 する効果の確認 ・発生前での一年生雑草に対する15g 処理での効果の確認
9. HAT-103 粒 DCMU:1.0% DBN:0.5% テブチオン:0.7% [保土谷アグロテック]	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 福岡 八女 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生/科/生育初期/土壌/家庭用 (7.5g処理での効果の確認) 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 7.5g, 10g, 20g 対) カブシ粒剤2.5 17g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・継 実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・40.7.5~20g/㎡ ・土壌処理 [一年生広葉雑草、多年生広葉雑草、ス ギナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・発生前処理での一年生雑草に対 する7.5g処理での効果の確認 ・生育初期処理での一年生/科雑草 に対する効果の確認
10. HAT-201 粒 ベキシン/ソ:0.5% MCPP#99A:1.0% [保土谷アグロテック]	適用性 継続	J古川 新中国G研 福岡 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生/生育初期/土壌/家庭用 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 10g, 20g, 30g 対) テブチ粒剤 10g	調査は処理後60~75日 まで行う。効果発現まで の日数を観察する。有用 植物から離して試験を 行う。	実	実) [一年生雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~30g/㎡ ・土壌処理 [多年生広葉雑草、スギナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・30~60g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する
	適用性 継続	J古川 新中国G研 福岡 (3)	ねらい 対象 雑草 多年生/広葉・スギナ/生育初期/土壌/家庭用 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 30g, 40g, 60g 対) テブチ粒剤 15g	調査は処理後60~75日 まで行う。効果発現まで の日数を観察する。有用 植物から離して試験を 行う。		

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備考	判定	判定内容	
11. HAT-302 粒 ターバシド:0.8% DCMU:2% [保土谷77'ロテック]	適用性 新規	植調研 新中国G研 J福岡	(3)	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	継	継) ・効果の確認	
	適用性 新規	植調研 新中国G研 J福岡		ねらい 一年生/生育初期/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他				調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。
	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡		ねらい 多年生/広葉・スキナ/生育初期/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 全般 その他 スキナ				
設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡		
12. HAT-303 粒 ターバシド:1.5% DCBN:1.5% DCMU:3% [保土谷77'ロテック]	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 J福岡	(3)	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	継	継) ・効果の確認	
	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 J福岡		ねらい 一年生・多年生・スキナ/生育初期/土壌/家 庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他 スキナ				調査は処理後60~75日 まで行う。効果発現まで の日数を観察する。有用 植物から離して試験を 行う。
設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡	
13. HPW-109 粒 シヤンソ:10% DCBN:5% [保土谷UPL]	適用性 継続	東日本G研 福岡 豊前	(2)	ねらい 一年生・多年生・スキナ/発生前/土壌/家庭用(ス ギナに対する効果の確認) 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他 スキナ	雑草発生前で散布する。 調査は、薬剤散布60日を 目安に行う。その後の抑 草期間の確認も行う。	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・発生前 ・10~20g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スス、セトウグサ、 イトリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・発生前での一年生雑草・多年生広 葉雑草に対する年次変動の確認 ・発生前での多年生/科雑草、スキナ に対する効果の確認	
	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡		設計 薬量 <水量> /㎡				設計 薬量 <水量> /㎡
14. HW-112 粒 カルブチレート:1.2% DN:2.0% [保土谷77'ロテック]	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 J福岡	(4)	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・継	実) [一年生雑草、スキナ、 アサギ、アサギ等]多年 生広葉雑草、スキナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スス、セトウグサ、 イトリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・低薬量での効果の確認 ・発生前での一年生雑草に対する効 果の確認	
	設計 薬量 <水量> /㎡	設計 薬量 <水量> /㎡		設計 薬量 <水量> /㎡				設計 薬量 <水量> /㎡

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	試験の 種別・継続 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
15. HW-113 粒 カブチレート:1.2% DBN:3.0% DCMU:5.0% 【保土谷アグロテック】	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 J福岡	ねらい (4) 一年生/生育初期/土壌/家庭用 (低薬量拡大) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 5g, 7.5g, 10g 対) ラーチ粒剤 10g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・雑	実) [一年生雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・5~10g/㎡ ・土壌処理 [一年生雑草、スキ、ギンギク]等多年生 広葉雑草、スキ*) ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 雑) ・草種について ・一年生雑草に対する5~7.5g処理で の効果について年次変動の確認
16. HW-123 粒 メトラフゾリン:0.7% DBN:3.0% DCMU:5.0% 【保土谷アグロテック】	適用性 継続	泉パークG研 東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい (4) 一年生/発生前/土壌/家庭用 (低薬量拡大) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 5g, 7.5g, 10g 対) カノン粒剤 2.5 17g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・雑	実) [一年生雑草] ・発生前 ・7.5~10g/㎡ ・土壌処理 [一年生雑草] ・発生前~生育初期(草丈20cm以下) ・7.5~10g/㎡ ・土壌処理 [多年生広葉雑草、スキ*) ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 雑) ・多年生広葉雑草、スキ*)に対する発 生前処理での効果の確認 ・発生前での一年生雑草に対する5g 処理での効果について年次変動の確認
17. HW-992 粒 テブチロン:0.8% DBN:2.0% 【保土谷アグロテック】	適用性 継続	島根 福岡 豊前	ねらい (2) 一年生/発生前/土壌/家庭用 (年次変動の確認) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 7.5g, 10g, 15g 対) カノン粒剤 2.5 17g	調査は処理後45~60日 までお願いいたします。 有用植物から離してご 試験下さい。	実・雑 実 従来ど おり	実) [一年生雑草] ・発生前 ・7.5~15g/㎡ ・土壌処理 ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~15g/㎡ ・土壌処理 [多年生広葉雑草、スキ*) ・発生前~生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 雑) ・発生前処理での一年生雑草に対す る低薬量での効果の年次変動の確認
18. HW-993 粒 テブチロン:0.8% DBN:3.0% DCMU:6.0% 【保土谷アグロテック】	適用性 継続	泉パークG研 東日本G研 新中国G研 J福岡 豊前	ねらい (4) 一年生/発生前/土壌/家庭用 (低薬量拡大) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 5g, 7.5g, 10g 対) カノン粒剤 2.5 17g	調査は処理後45~60日 まで行う。有用植物から 離して試験を行う。	実・雑	実) [一年生雑草] ・発生前 ・7.5~10g/㎡ ・土壌処理 [一年生雑草] ・発生前~生育初期(草丈20cm以下) ・7.5~10g/㎡ ・土壌処理 [多年生広葉雑草、スキ*) ・発生前~生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/㎡ ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウアサガリ、 イカリ等)を対象としない場面で使用 する 雑) ・発生前での一年生雑草に対する5g 処理での効果について年次変動の確認

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	試験の 種 類 新・継 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
19. MBH-031 粉粒 プロモラル:1% [丸和パナソニック]	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 福岡 筑後	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 雑草発生前 (水量) 10g, 15g, 20g 対) タリノニ微粒剤 雑草発生前 10g	抑草期間の調査を行う。	実・継 実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・10~20g/m ² ・土壌処理 [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/m ² ・茎葉兼土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イタドリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・発生前処理での効果の確認
20. MBH-034 粒 プロモラル:1% DCMU:3% [丸和パナソニック]	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 雑草発生前 (水量) 7.5g, 10g, 15g 対) 草退治V 雑草発生前 10g	抑草期間の調査を行う。	実・継 従来どおり	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/m ² ・土壌処理 [スギナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・20~40g/m ² ・土壌処理 注)・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イタドリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・発生前での一年生雑草に対する効果 の確認
21. MBH-091 粉粒 プロモラル:1.5% MCPP:0.7% [丸和パナソニック]	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 (低薬量拡大) 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 雑草発生前 (水量) 7.5g, 10g, 15g 対) 草退治V 雑草発生前 10g	抑草期間の調査を行う。	実・継 実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・40.7.5~20g/m ² ・土壌処理 [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・20~40g/m ² ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イタドリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・生育初期処理でのスギナに対する効果 の確認 ・発生前での一年生雑草に対する 7.5g処理での効果について年次変動 の確認
22. MBH-093 粒 プロモラル:1.5% DCMU:3% MCPP:1.5% [丸和パナソニック]	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 一年生/発生前/土壌/家庭用 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 雑草発生前 (水量) 5g, 7.5g, 15g 対) 草退治V 雑草発生前 10g	抑草期間の調査を行う。	実・継 実	実) [一年生雑草] ・発生前~生育初期(草丈20cm以下) ・40.5~15g/m ² ・土壌処理 [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/m ² ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイヨウアサガリ、 イタドリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・スギナに対する効果の確認 ・発生前処理での効果の確認 ・生育初期での一年生雑草に対する 10~15gでの効果について年次変動 の確認 ・生育初期での一年生雑草に対する 5g処理での効果の確認 ・生育初期での多年生(科)雑草に対 する効果の確認
	適用性 継続	J埼玉 福岡 筑後	ねらい (2) 対象 雑草 一年生/生育初期/土壌/家庭用 (低薬量拡大) 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 雑草生育初期(草丈20cm以下) (水量) 5g, 7.5g, 10g 対) 草退治V 雑草生育初期(草丈20cm以下) 20g	抑草期間の調査を行う。		
	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 多年生(科) 全般 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) 全般 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 雑草生育初期(草丈20cm以下) (水量) 15g, 20g, 30g 対) タリノニ微粒剤 雑草生育初期(草丈20cm以下) 20g	抑草期間の調査を行う。		

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種 類 新・ 羅 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
23. MBH-131 粒 アミカルバゾン:0.5% プロモシム:1.0% [丸和パ 伊ナカ]	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 福岡 筑後	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 (3) 対象雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 7.5g 10g 15g 対) 草退治V 雑草発生前 10g	抑草期間の調査を行う。	継	継) ・効果の確認
	適用性 新規	J古川 東日本G研 新中国G研	ねらい 一年生・多年生広葉・スギナ/生育初期/土壌/家庭用 (3) 対象雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 15g 20g 30g 対) 草退治V 雑草生育初期(草丈20cm以下) 15g	抑草期間の調査を行う。 また、スギナへの効果の確認を行う。		
24. MBH-132 粒 アミカルバゾン:0.5% プロモシム:1.0% DCMU:3.0% [丸和パ 伊ナカ]	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 福岡 筑後	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 (3) 対象雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 5g 7.5g 10g 対) ネツキエーSX 雑草発生前 7.5g	抑草期間の調査を行う。	継	継) ・効果の確認
	適用性 新規	J古川 東日本G研 新中国G研	ねらい 一年生・多年生広葉・スギナ/生育初期/土壌/家庭用 (3) 対象雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 10g 15g 20g 対) ネツキエーSX 雑草生育初期(草丈20cm以下) 10g	抑草期間の調査を行う。 また、スギナへの効果の確認を行う。		
25. MBH-133 粒 アミカルバゾン:0.5% プロモシム:0.5% [丸和パ 伊ナカ]	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 (3) 対象雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前 10g 15g 20g 対) カボン2.5 雑草発生前 17g	抑草期間の調査を行う。	継	継) ・効果の確認
	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい 一年生・多年生広葉・スギナ/生育初期/土壌/家庭用 (3) 対象雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 20g 30g 40g 対) カボン2.5 雑草生育初期(草丈20cm以下) 20g	抑草期間の調査を行う。 また、スギナへの効果の確認を行う。		

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	試験の 種別 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
26. SB-219 粒 アミカルバズン:1% カルブチレート:2% メコプロップPカリウム塩 :1.5% 【エス・ティ・イー・エス・パ・イ・テック】	適用性 継続	J古川 東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい 一年生・多年生・スキナ/発生前/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 雑草発生前 5g, 7.5g, 10g 対) クチノDX 雑草発生前 7.5g	処理後経過を見ながら 90日前後で調査する。	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草] ・発生前 ・5~10g/m ² ・土壌処理 [一年生雑草、多年生雑草、スキナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/m ² ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウワダチグサ、イトリ等)を対象としない場面で使用する
	適用性 継続	J古川 東日本G研 関西G研 新中国G研 J福岡	ねらい 一年生・多年生・スキナ/生育初期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 雑草生育初期(20cm以下) 10g, 15g, 20g 対) クチノDX 雑草生育初期(20cm以下) 15g	処理後経過を見ながら 90日前後で調査する。	継)	・発生前処理でのスキナに対する効果の確認
27. SB-576 粒 カルブチレート:1.5% メコプロップPカリウム塩 :1.5% 【エス・ティ・イー・エス・パ・イ・テック】	適用性 継続	泉パ・クワンGC 福岡 豊前	ねらい 一年生/生育初期/土壌/家庭用 (年次変動の確認) 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /m ² 10g 15g 20g 対) こっぴみじん 雑草発生前(20cm以下) 15g	処理後経過を見ながら 90日前後で調査する。	実・継 実 従来どおり	実) [一年生雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/m ² ・土壌処理 [一年生雑草、多年生広葉雑草、スキナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・20~40g/m ² ・土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウワダチグサ、イトリ等)を対象としない場面で使用する
	適用性 継続	泉パ・クワンGC 福岡 豊前	ねらい スキナ/生育初期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 20g 30g 40g 対) クレソルイーザ 雑草発生前(20cm以下) 20g	処理後経過を見ながら 90日前後で調査する。	継)	・一年生雑草に対する10~20g/m ² での効果の年次変動の確認
28. SB-5581 粒 カルブチレート:2% 【エス・ティ・イー・エス・パ・イ・テック】	適用性 継続	関西G研 新中国G研	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /m ² 土壌処理 雑草発生前 5g, 10g, 20g 対) クチノDX 雑草発生前 7.5g	処理後経過を見ながら 90日前後で調査する。	実・継 従来どおり	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) 20~40g/m ² 土壌処理 [多年生(科)雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) 40~60g/m ² 土壌処理 注) ・大型多年生雑草(スキ、セイヨウワダチグサ、イトリ等)を対象としない場面で使用する [種類; 根絶効果] ・生育期(100cm以下) 40~50g/m ² 土壌処理
	適用性 継続	東日本G研 福岡 筑後	ねらい 一年生広葉・スキナ/生育初期/茎葉/家庭用 (スキナに対する効果の確認) 対象雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉処理 雑草生育初期(雑草丈15cm以下) 0.1mL <100mL 0.2mL <100mL		実・継	実) [一年生広葉雑草、スキナ] ・生育初期(草丈15cm以下) ・0.1~0.2mL(<100mL)/m ² ・茎葉処理 継) ・多年生広葉雑草への効果の確認(高薬量) ・スキナへの効果の確認(低薬量) ・一年生広葉雑草に対する効果の年次変動の確認
29. F-8426 (L) 乳 カルフェントラゾールエチル :6.4% 【石原パ・イ・テック(エンス)】	適用性 継続	東日本G研 福岡 筑後	ねらい 一年生広葉・スキナ/生育初期/茎葉/家庭用 (スキナに対する効果の確認) 対象雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スキナ 設計 薬量 (水量) /m ² 茎葉処理 雑草生育初期(雑草丈15cm以下) 0.1mL <100mL 0.2mL <100mL		実・継	実) [一年生広葉雑草、スキナ] ・生育初期(草丈15cm以下) ・0.1~0.2mL(<100mL)/m ² ・茎葉処理 継) ・多年生広葉雑草への効果の確認(高薬量) ・スキナへの効果の確認(低薬量) ・一年生広葉雑草に対する効果の年次変動の確認

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (試験中など の)数	ねらい試験設計等	備考	判定	判定内容
30. HAT-104 液 [保土谷アグロテック] 有効成分:0.4%	適用性 継続	東日本G研 香川府中 福岡 (3)	ねらい 一年生/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 10mL<希釈せずそのまま散布> 20mL<希釈せずそのまま散布> 40mL<希釈せずそのまま散布> 対) 草退治/アグロテック 20mL	効果の発現日、茎葉処理 効果の完成時に調査を 行う。	実・継 実	[一年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・20~40mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 [一年生雑草、多年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・40~80mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉兼土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイタカアワダチソウ、 イカリソウ等)を対象としない場面で使用 する
	適用性 継続	東日本G研 香川府中 福岡 (3)	ねらい 一年生・多年生・スギナ/生育期/茎葉兼土壌 /家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 40mL<希釈せずそのまま散布> 60mL<希釈せずそのまま散布> 80mL<希釈せずそのまま散布> 対) 草退治/アグロテック 40mL	効果の発現日、茎葉処理 効果の完成時に調査を 行う。土壌処理効果につ いて確認する。	継 実	・一年生雑草に対する10mL処理での 効果の確認。 ・スギナに対する効果の確認。
31. HGAL-12 液 [ハート] 有効成分:1.0%	適用性 継続	島根 福岡 筑後 (2)	ねらい 一年生/生育期/茎葉/家庭用 (低薬量での効果の確認) 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL<希釈せずそのまま散布> 30mL<希釈せずそのまま散布> 40mL<希釈せずそのまま散布> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時(処理後10~ 20日を目安とする)での 調査および抑草期間の 調査を行う。 専用ノズルを使用する。	実・継 実	[一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・30~40mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セイタカアワダチソウ、 イカリソウ等)を対象としない場面で使用 する
	適用性 継続	島根 福岡 筑後 (2)	ねらい 多年生/生育期/茎葉/家庭用(低薬量での効果の確認、 多年生イネ科に対する効果の確認) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL<希釈せずそのまま散布> 30mL<希釈せずそのまま散布> 40mL<希釈せずそのまま散布> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時(処理後10~ 20日を目安とする)での 調査および抑草期間の 調査を行う。 専用ノズルを使用する。	継 実	・20mLでの一年生雑草、多年生雑草 に対する効果の確認 ・30~40mLでの一年生雑草、多年生広 葉雑草に対する効果の年次変動の確認 ・多年生/科雑草に対する効果の確認
32. HGHWAL-12 液 [ハート] 有効成分:0.25%	適用性 継続	泉パ・カワG 新潟 畜産研 植調研 関西G研 島根 香川府中 福岡 八女 鹿児島大 (8)	ねらい 一年生・多年生/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 全般 多年生/広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL<希釈せずそのまま散布> 30mL<希釈せずそのまま散布> 40mL<希釈せずそのまま散布> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時での調査お よび抑草期間の調査を 行う。 専用ノズルを使用する。	実	[一年生雑草、多年生雑草、スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・20~40mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 注) 大型多年生雑草(ススキ、セイタカアワダチソウ、 イカリソウ等)を対象としない場面で使 用する
	適用性 継続	泉パ・カワG 新潟 畜産研 植調研 福岡 八女 (4)	ねらい スギナ/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL<希釈せずそのまま散布> 30mL<希釈せずそのまま散布> 40mL<希釈せずそのまま散布> 対) 一任	展着剤不要。 効果最大時での調査お よび抑草期間の調査を 行う。 専用ノズルを使用する。		

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
33. MBH-096 液 ベアラコロン酸:2.5% [丸和パ'イカシカ]	適用性 継続	東日本G研 植調研 福岡 八女	ねらい コケ類/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 コケ類 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 コケ生育期 100mL <希釈せずそのまま散布> 150mL <希釈せずそのまま散布> 対) オランジパローコケ生育期 150mL <希釈せずそのまま散布>	効果の発現時、効果の完 成時の調査を行う。セニ ゴケ以外で効果の確認を 行う。	実・継 従 来 ど お り	実) [一年生雑草、多年生雑草、 スギナ、セッコク] ・生育期(草丈30cm以下) ・100~150mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 注) 大型多年生雑草(ススキ、イカリガサ、チリ ウイリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・コケ類に対する効果の確認
	適用性 継続	東日本G研 植調研 福岡 八女	ねらい コケ類/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 コケ類 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 コケ生育期 5mL <100mL> 5mL <150mL> 7.5mL <100mL> 対) オランジパローコケ生育期 150mL <希釈せずそのまま散布>	効果の発現時、効果の完 成時の調査を行う。セニ ゴケ以外で効果の確認を 行う。	実・継 従 来 ど お り	実) [一年生雑草、多年生雑草、 スギナ、セッコク] ・生育期(草丈30cm以下) ・5~7.5mL<100~150mL>/㎡ ・茎葉処理 注) 大型多年生雑草(ススキ、イカリガサ、チリ ウイリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・コケ類に対する効果の確認
35. MBH-124 液 グリホサートイソプロピルアミン 塩:1% ベアラコロン酸:2% [丸和パ'イカシカ]	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 J福岡 自社試験	ねらい 一年生・多年生/生育初期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 15mL <希釈せずそのまま散布> 20mL <希釈せずそのまま散布> 30mL <希釈せずそのまま散布> 対) 草退治シヤン雑草生育初期(草丈20cm以下) 15mL <希釈せずそのまま散布>	効果の発現時、効果の完 成時の調査を行う。	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草、 スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・50~150mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、イカリガサ、チリ ウイリ等)を対象としない場面で使用 する 継) ・生育初期処理での効果の確認
	適用性 継続	J古川 東日本G研 植調研 関西G研 J福岡	ねらい 一年生・多年生・スギナ/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 50mL <希釈せずそのまま散布> 100mL <希釈せずそのまま散布> 150mL <希釈せずそのまま散布> 対) 園芸用シヤン雑草生育期(草丈30cm以下) 50mL <希釈せずそのまま散布>	効果の発現時、効果の完 成時の調査を行う。		
	適用性 継続	J埼玉	ねらい 多年生/科/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 全般 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 50mL <希釈せずそのまま散布> 100mL <希釈せずそのまま散布> 150mL <希釈せずそのまま散布> 対) 園芸用シヤン雑草生育期(草丈30cm以下) 50mL <希釈せずそのまま散布>	効果の発現時、効果の完 成時の調査を行う。		

A. 裸地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類・種 の別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
39. NC-637 液 ノコギリカサネ草 含有率:0.96% ノコギリ草:0.25% [日産化学工業]	適用性 継続	東日本G研 植調研 関西G研 新中国G研 J鹿児島大岡	ねらい 一年生・多年生/生育期/茎葉兼土壌/家庭用 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(葉) 全般 その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 15mL<希釈せずそのまま散布> 20mL<希釈せずそのまま散布> 30mL<希釈せずそのまま散布> 40mL<希釈せずそのまま散布> 対) フラントトップマックスードAL 雑草生育期(草丈30cm以下) 15mL	雑草調査は対照薬剤と 比べて土壌処理効果が 明確に確認できる時期 の調査(目安として薬剤 処理後、60~90日)を行 う。処理は雑草草丈30cm 以下で行う。1年生(科、 広葉及び多年生(科、広 葉)の各科、1草種以上で の評価。春処理(4~5月 頃)を希望。	実	実) [一年生雑草、多年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・15~40mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉兼土壌処理 [スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・75~90mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉兼土壌処理 注) ・大型多年生雑草(ススキ、セトウグサ、クサノオ等)を対象としない場面で使用する
	適用性 継続	東日本G研 植調研 関西G研 新中国G研	ねらい スギナ/生育期/茎葉兼土壌/家庭用 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 スギナ生育期(草丈30cm以下) 75mL<希釈せずそのまま散布> 90mL<希釈せずそのまま散布> 対) フラントトップマックスードAL 雑草生育期(草丈30cm以下) 75mL	スギナ優先圃(草丈20cm以 下)で試験を行う。雑草 調査は処理後30~60日 に行う。		
40. SB-922 EW d-アミノ酸:15% [エス・ディー・エス・バイotech]	適用性 継続	植調研 関西G研 新中国G研 J福岡	ねらい 一年生・多年生・スギナ/生育初期/茎葉/家 庭用 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(葉) 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育初期(20cm以下) 75mL、100mL、150mL、200mL <希釈せずそのまま散布> 対) ゼンジバク AL 雑草生育初期(20cm以下) 100mL	接触型の除草剤のため、 雑草全体にむらなく散 布する。調査は、処理後、 1日、7日、14日、28日程度 まで行う。また、低薬量 (75~100mL)散布区にお いては、一年生雑草を中 心に調査願います。	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・75~200mL/㎡ (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 注) 大型多年生雑草(ススキ、セトウグサ、クサノオ等)を対象としない場面で使用する 継) ・多年生(科)雑草、スギナに対する効果 の確認
41. SB-927 EW d-アミノ酸:5% 既知化合物:5% [エス・ディー・エス・バイotech]	適用性 新規	植調研 新中国G研	ねらい 一年生・多年生・スギナ/生育初期/茎葉/家 庭用 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(葉) 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育初期(20cm以下) 100mL、150mL、200mL<希釈せずそのまま散布> 対) ゼンジバク AL 雑草生育初期(20cm以下) 150mL<希釈せずそのまま散布>	接触型の除草剤のため、 雑草全体にむらなく散 布する。調査は、処理後、 1日、7日、14日、28日程度 まで行う。	継	継) ・効果の確認
42. MBH-096E 乳 ベラボン酸:2.5% [丸和バイオケミカル]	適用性 新規	<東日本G研> <J福岡>	ねらい 一年生・多年生/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(葉) 全般 その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 100mL<希釈せずそのまま散布> 150mL<希釈せずそのまま散布> 対) ゼンジバク AL 雑草生育期(草丈30cm以下) 150mL<希釈せずそのまま散布>	効果発現時、効果の完成 時の調査を行う。	-	(試験中)
	適用性 新規	<東日本G研> <J福岡>	ねらい コガ/生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 コガ類 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 コガ生育期 100mL<希釈せずそのまま散布> 150mL<希釈せずそのまま散布> 対) ゼンジバク AL コガ生育期 150mL<希釈せずそのまま散布>	効果発現時、効果の完成 時の調査を行う。 ゼンコクを含めたコガ類で の効果確認。		

A. 緑地管理 (2) 家庭用

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種 類 ・ 種 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備 考	判定	判定内容
43. MBH-098E 乳 ベラメロン酸:30% [丸和ベイヤカカ]	適用性 新規	<東日本G研 J福岡>	(2)	ねらい 対象 雑草 一年生・多年生/生育期/茎葉/家庭用 一年生仕株 一年生広葉 多年生仕株 多年生広葉 その他	効果発現時、効果の完成 時の調査を行う。	-	(試験中)
	設計 薬量 <水量> /㎡	茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 6.7mL <100mL> 6.7mL <150mL> 10mL <100mL> 対) ゼンシバワー 雑草生育期(草丈30cm以下) 150mL <希釈せずそのまま散布>					
	適用性 新規	<東日本G研 J福岡>	(2)	ねらい 対象 雑草 コガ/生育期/茎葉/家庭用 一年生仕株 一年生広葉 多年生仕株 多年生広葉 その他	効果発現時、効果の完成 時の調査を行う。 ゼンシバワーを含めたコガ類 での効果確認。		
設計 薬量 <水量> /㎡	茎葉処理 コガ生育期 6.7mL <100mL> 6.7mL <150mL> 10mL <100mL> 対) ゼンシバワー コガ生育期 150mL <希釈せずそのまま散布>						

B. 緑地維持 (1) 抑草

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 ・ 種 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備 考	判定	判定内容		
1. NGR-1101 液 フルメチピリドール:48.1% [日本農業]	シラカン	適用性 継続	福岡 林業	(1)	ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡	新梢伸長抑制/樹幹注入 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 1mL/穴、幹周り7cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔	継 継) ・効果、被害の確認			
	マテバシ	適用性 新規	福岡 林業		ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡				新梢伸長抑制/樹幹注入 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 1mL/穴、幹周り7cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔	
	クヌキ	適用性 新規	福岡 林業		ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡				新梢伸長抑制/樹幹注入 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 1mL/穴、幹周り7cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔	
	カイワレカ ブキ	適用性 新規	<自社試験>	(1)	ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡	新梢伸長抑制/樹幹注入 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 1mL/穴、幹周り7cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔			・専用処理機を用いて樹幹に直接注入する(処理時立ち合い) ・樹木の幹周り7~10cm間隔で、一穴当たり1mlを樹幹注入する。 ・可能であれば幹周り40cm程度(以上の樹木を選抜し試験を行う。 ・伸長抑制程度の調査対象新梢は高位(地上3m程度以上)とする。 ・効果被害調査時には可能であれば写真を撮影する。	
	モジバ ワ	適用性 新規	<自社試験>		ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡	新梢伸長抑制/樹幹注入 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 1mL/穴、幹周り7cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔				
	シラカン	作用性 継続 (H24)	福岡 林業		(1)	ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡				新梢伸長抑制/樹幹注入 (2年目効果の確認) H24処理の2年目効果の確認 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期開始前(3月上旬) 1mL/穴、幹周り10cm間隔 樹木新梢伸長期開始期(3月下旬) 1mL/穴、幹周り10cm間隔 樹木新梢伸長期(4月下旬) 1mL/穴、幹周り10cm間隔
	マテバシ	作用性 継続 (H24)	福岡 林業	(1)	ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡	新梢伸長抑制/樹幹注入 (2年目効果の確認) H24処理の2年目効果の確認 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期開始前(3月上旬) 1mL/穴、幹周り10cm間隔 樹木新梢伸長期開始期(3月下旬) 1mL/穴、幹周り10cm間隔 樹木新梢伸長期(4月下旬) 1mL/穴、幹周り10cm間隔				
	シラカン	適用性 継続 (H23)	福岡 林業		(1)	ねらい 設計 薬量 <水量> /㎡				新梢伸長抑制/樹幹注入 (3年目効果の確認) H23処理の3年目効果の確認 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 0.5mL/穴、幹周り10cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔 2mL/穴、幹周り10cm間隔 (倍量区)

B. 緑地維持 (2) 特定植生の維持

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・新 規・別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい、試験設計等	備考	判定	判定内容
1. BEH-507 フロアブル インダシドアム:19.1% [ハニエクロップサイエンス]	センビード グラス	適用性 新規	植調研 J埼玉 新中国G研 J福岡	(4) ねらい センビードグラス生育期/一年生/発生前/ 土壌 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前、センビードグラス生育期 0.02mL <200mL> 0.02mL <100mL> 0.05mL <100mL> 対) シバクンDF 雑草生育初期、 センビードグラス生育期 0.02g <100mL>	処理後30, 60, 90日 程度で調査を行う。 センビードグラス種子 の播種前後や張り 芝前後での試験は 避ける。	継	継) ・効果、葉害の確認
2. HAT-213 粒 DCBN:2.0% [保土谷アグロテック]	センビード グラス	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研 J福岡	(4) ねらい センビードグラス播種時/一年生/発生前/ 土壌 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 センビードグラス播種時 雑草発 生前 7.5g, 10g, 15g	最終調査は処理後 90日程度で行う。	実・継	実) 特定植生の維持;センビードグラス [一年生イネ科雑草] ・センビードグラス播種後、雑草発生前 ・15g/㎡ ・土壌処理 [一年生広葉雑草] ・センビードグラス播種後、雑草発生前 ・7.5~15g/㎡ ・土壌処理 [一年生イネ科雑草] ・センビードグラス生育期、 雑草生育初期(草丈20cm以下) ・20g/㎡ ・土壌処理 [一年生広葉雑草] ・センビードグラス生育期、 雑草生育初期(草丈20cm以下) ・10~20g/㎡ ・土壌処理
3. HW-T62 水和 DCBN:50% [保土谷アグロテック]	センビード グラス	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研 J福岡	(4) ねらい センビードグラス生育期/一年生/生育初期 /土壌 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 センビードグラス生育期 雑草生育初期 10g, 15g, 20g	最終調査は処理後 90日程度で行う。	継	継) ・一年生イネ科雑草発生前7.5g、10g処 理での効果の確認 ・一年生イネ科雑草生育初期10g、15g 処理での効果の確認
	センビード グラス	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研 J福岡	(4) ねらい センビードグラス播種後/一年生/発生前/ 土壌 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 センビードグラス播種後 雑草発生前 0.25g <200mL> 0.5g <200mL> 0.75g <200mL>	最終調査は処理後 90日程度で行う。	実・継	実) 特定植生の維持;センビードグラス [一年生イネ科雑草] ・センビードグラス播種後、雑草発生前 ・0.75g<200mL>/㎡ ・土壌処理 [一年生広葉雑草] ・センビードグラス播種後、雑草発生前 ・0.5~0.75g<200mL>/㎡ ・土壌処理 [一年生雑草] ・センビードグラス生育期、 雑草生育初期(草丈20cm以下) ・0.5~1.0g<200mL>/㎡ ・土壌処理
	センビード グラス	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研 J福岡	(4) ねらい センビードグラス生育期/一年生/生育初期 /茎葉兼土壌 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 センビードグラス生育期 雑草生育初期 0.5g <200mL> 0.75g <200mL> 1.0g <200mL>	最終調査は処理後 90日程度で行う。	継	継) ・一年生雑草発生前0.25g<200mL>、 一年生イネ科雑草発生前0.5g<200mL>処 理での効果の確認。